

中部化工建設株式会社は、育児休業取得推進に取り組んでいます。その取り組み事例として、男性育児休業の取得事例を公表します。

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	中部化工建設株式会社
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景 仕事と家庭の両立や男性の育児参加などニーズの変化に対応して、当社としても、従業員の質の高い業務を求めるにあたって、その必要性を感じたため。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 法定を上回る制度の整備、育児休業取得推進パンフレットの作成・配布、社内ポータルでの制度周知。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 育児休業制度についての理解や他の社員の協力、また、対象者本人の取得時期の調整など、会社全体で育児休業利用促進を進めること。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 他の社員への負担も考慮する必要があるため、業務量の調整や一時的な業務分担の見直しを図った。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 今後はITを利用した在宅での一時的な業務対応を可能にするなど、利用者ニーズに合わせた、より柔軟な育児休業体制を構築し、仕事と家庭の両立を図っていきたい。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 32日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 関連会社含め、会社が育児休暇の取得に推奨しているため。 第一子であり家庭として育児に不安があったため。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 育児に深くかかわり、子供の成長を間近で見ることができよかった。 妻の負担も軽減できた。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 事前の育児休暇を設定し、育児休暇期間の業務を軽減した。 上司や同僚に業務の進捗を逐一伝達し、引き継ぎを円滑にした。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 休業期間中も業務が同僚により円滑に進められていたことで、自身で業務をため込まず同僚を頼るようになり、心身に余裕が生まれた。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 育児休暇は育児に深くかかわるチャンスである。今後の子供の成長に関心を抱く良いきっかけになる。妻の負担が軽減され、家庭円満につながる。</p>

(注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。